

秋田焼山の火山活動解説資料（平成 26 年 10 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 25 年 7 月 25 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1、図 2-①）

東北地方整備局が山頂の西約 2 km に設置している焼山監視カメラによる観測では、^{さけびさわ}叫沢源頭部の噴気は噴気孔上 50m 以下で経過しました。湯沼の噴気は観測されず、噴気活動は低調に経過しました。

・地震や微動の発生状況（図 2-②）

火山性地震は少ない状況で経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 3、図 5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 秋田焼山 叫沢源頭部の噴気の状況（10 月 7 日 08 時 55 分頃）

- ・山頂の西約 2 km に設置されている焼山監視カメラ（東北地方整備局）の映像です。
- ・赤丸実線で囲んだのが叫沢源頭部の白色噴気で高さ 50m です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 11 月分）は平成 26 年 12 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

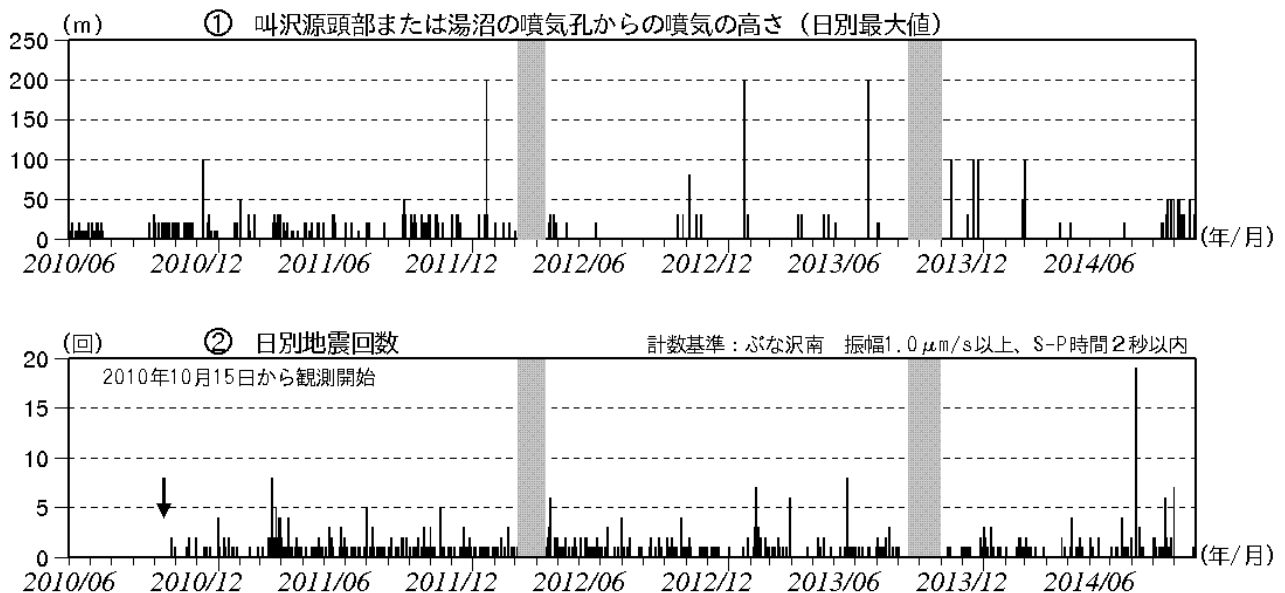


図2 秋田焼山 火山活動経過図（2010年6月～2014年10月）

- ・①2010年6月1日から焼山監視カメラ（東北地方整備局）により観測を開始しました。
- ・②2010年10月15日から観測を開始しました。
- ・図の灰色部分は欠測を示します。

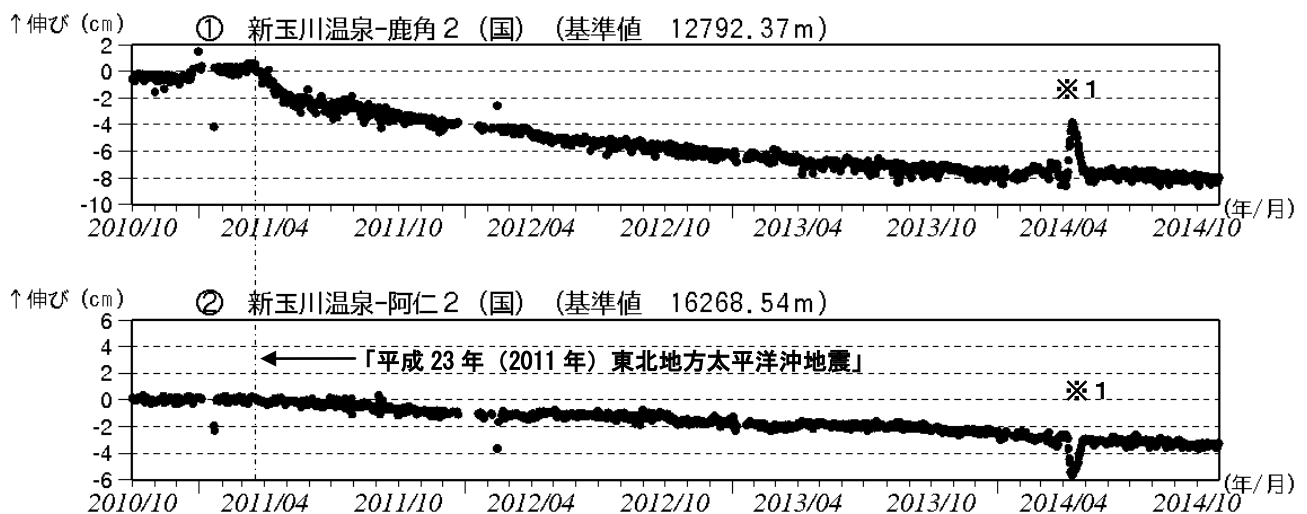


図3 秋田焼山 GNSS¹⁾ 基線長変化図（2010年10月～2014年10月）

- 1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- ・2011年3月11日以降の縮みの傾向は、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
 - ・「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・①～②は図5のGNSS基線①～②に対応しています。
 - ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
 - ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。

（国）：国土地理院

※1 2014年3月から4月にかけて、新玉川温泉観測点では原因不明の変動が観測されていますが、火山活動に起因するものではありません。

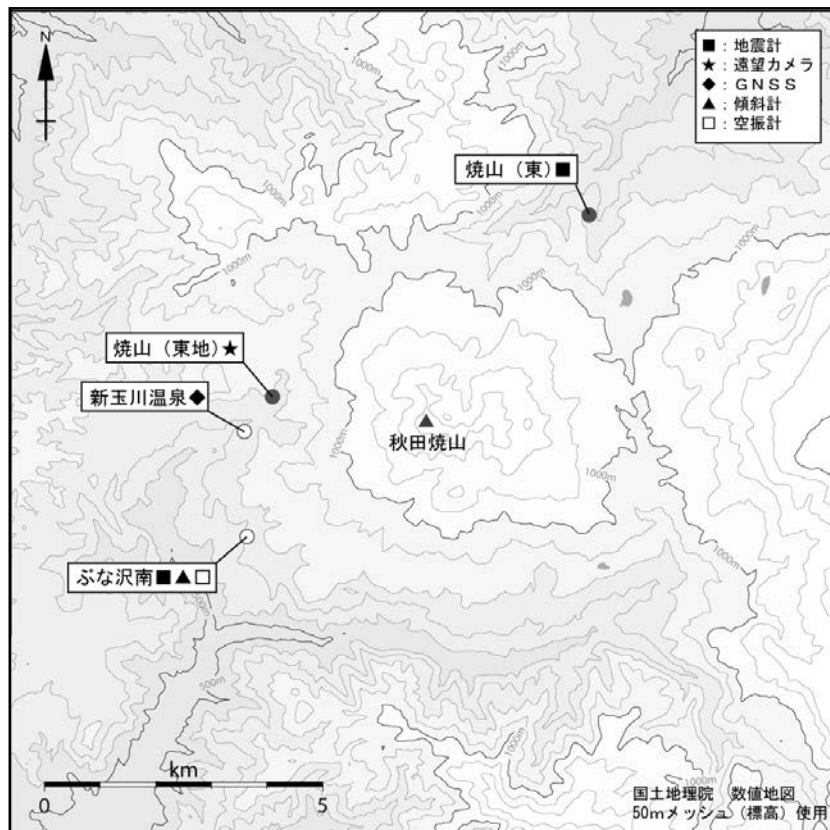


図 4 秋田焼山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東地）：東北地方整備局 （東）：東北大学

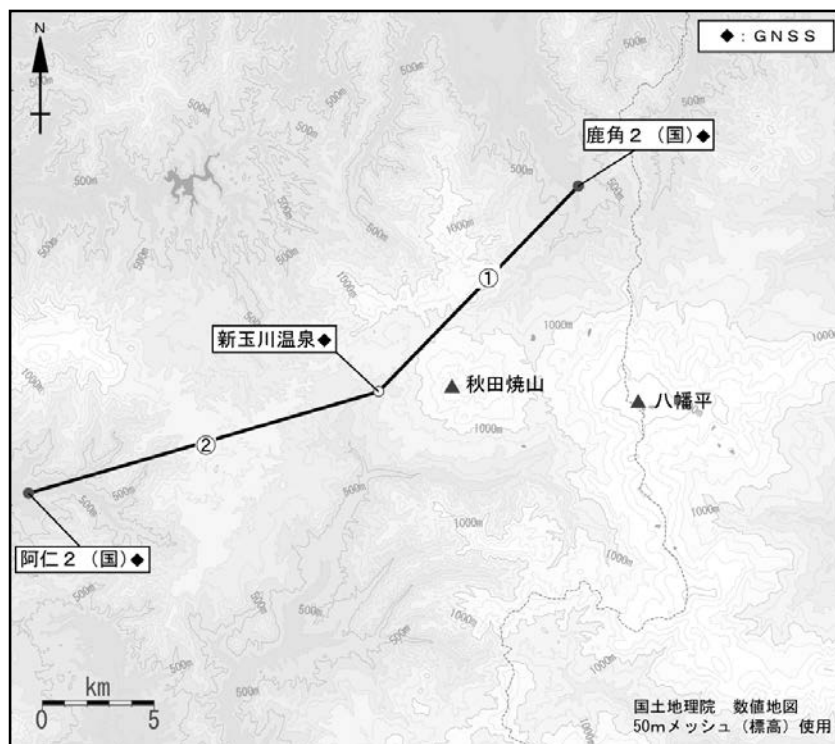


図 5 秋田焼山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院